

令和5年度年間授業計画

教科:国語 科目:現代文B 校内科目名:現代文B3
 教科担当者:會田哲也 兼子千明 佐藤恵

対象年次:3

2単位

使用教科書・教材

○教科書

『高等学校現代文B(改訂版)』(三省堂)

○補助教材

『高等学校現代文B学習課題ノート』(三省堂)

『入試によく出る漢字2001』(京都書房)

『新版三訂ニューエージ現代文 完成3』(第一学習社)

『プレミアムカラー国語便覧』(数研出版)

『プレミアムカラー国語便覧 準拠ノート』(数研出版)

	指導内容	指導目標	評価の観点・方法	予定授業時数
1 学期	<1学期> ○中間検査まで 評論『ぬくみ』 評論『「なぜ」に答えられない科学』 ○期末検査まで 小説『舞姫』 ・文学教材は、心情を的確に把握し、豊かな感受性を養うことを主眼とする。 ・評論教材は、筆者の考えを理解すると共に、論理的思考を身に付け、適切な判断ができることを主眼とする。 ・言語活動として「読む」「書く」「聞く」「話す」「発表する」の学習活動を取り入れていく。 ※題材は、生徒の現況を踏まえて変更することがある。	・評論文を読み、基本的な読解力を身に付け、論理の展開の仕方を学ぶ。 ・小説を読み、感性を養うと共に、人生や社会に対する考え方を学ぶ。 ・漢字や語句等の基礎的な知識を学び、分からないことは調べるという学習習慣を身に付ける。 ・他の国語科目や他教科を理解するため、基幹教科として読解力を身に付ける。	1 定期検査の総合点 2 漢字の小テストの総合点 3 課題ノート等の提出物 4 予習・復習の状況 5 出席状況・授業態度 以上を総合的に判断する。	24
2 学期	<2学期> ○中間まで 評論『陰翳礼讃』小説『檸檬』 ○期末検査まで 小説『鞆』評論『累積的社会・停滞的社会』 ・文学教材は、心情を的確に把握し、豊かな感受性を養うことを主眼とする。 ・言語活動として、「読む」「書く」「聞く」「話す」「発表する」等の学習活動を取り入れていく。 ※題材は、生徒の現況を踏まえて変更することがある。	・小説や随想を読み、人生や社会に対する考え方を学び、登場人物の心情を的確に読み取る力を身に付ける。 ・漢字や語句等の知識を増やし、分からないことは調べるという学習習慣を身に付ける。 ・他の国語科目や他教科を理解するため、基幹教科として読解力を身に付ける。	1 定期検査の総合点 2 漢字の小テストの総合点 3 課題ノート等の提出物 4 予習・復習の状況 5 出席状況・授業態度 以上を総合的に判断する。	28
3 学期	<3学期> 詩歌『時計』 ・文学教材は、心情を的確に把握し、豊かな感受性を養うことを主眼とする。 ・言語活動として、「読む」「書く」「聞く」「話す」「発表する」等の学習活動を取り入れていく。 ※題材は、生徒の現況を踏まえて変更することがある。	・詩歌を読み、人生や社会に対する考え方を学び、心情を的確に読み取る力を身に付ける。 ・漢字や語句等の基礎的な知識を学び、分からないことは調べるという学習習慣を身に付ける。 ・他の国語科目や他教科を理解するため、基幹教科として読解力を身に付ける。	1 定期検査の総合点 2 漢字の小テストの総合点 3 課題ノート等の提出物 4 予習・復習の状況 5 出席状況・授業態度 以上を総合的に判断する。	6
			合計	58

令和5年度年間授業計画

教科:国語 科目:現代文B 校内科目名:現代文B演習3
 教科担当者 佐藤恵

対象年次:3

2単位

使用教科書・教材

○教科書

『高等学校現代文B(改訂版)』(三省堂)

○補助教材

『高等学校現代文B学習課題ノート』(三省堂)

『入試によく出る漢字2001』(京都書房)

『クリアカラー国語便覧』(数研出版)

『クリアカラー国語便覧 準拠ノート』(数研出版)

『大学入学 共通テスト演習 現代文』(いっぴいな書店)

『キーワードの卵』(尚文出版)

	指導内容	指導目標	評価の観点・方法	予定授業時数
1 学期	<1学期> <論理>第1回～第4回 <文学>第1回～第4回 ※情報収集や発表等。 ※語句・慣用句・四字熟語・短文作成の学習。 ※考査は入試問題レベルの実力問題も出題。	近・現代を代表する評論家や作家の文章に数多く触れ、問題解法を繰り返し演習することによって、大学受験に対応できるだけの読解力を身につける。 なお受験で扱われる評論は難解な内容のものが多く、選択する生徒には高い学習意欲と持続力が必要である。	1 定期考査 2 小テスト(語句テスト) 3 提出物(授業の解答用紙 毎回提出) 4 出席状況・授業態度 以上を総合的に判断して評価。	24
2 学期	<2学期> <論理>第5回～第8回 <文学>第5回～第8回 ※情報収集や発表等。 ※語句・慣用句・四字熟語・短文作成の学習。 ※考査は入試問題レベルの実力問題も出題。	近・現代を代表する評論家や作家の文章に数多く触れ、問題解法を繰り返し演習することによって、大学受験に対応できるだけの読解力を身につける。 なお受験で扱われる評論は難解な内容のものが多く、選択する生徒には高い学習意欲と持続力が必要である。	1 定期考査 2 小テスト(語句テスト) 3 提出物(授業の解答用紙 毎回提出) 4 出席状況・授業態度 以上を総合的に判断して評価。	28
3 学期	<3学期> <論理>第9回～第10回 <文学>第9回～第10回 ※情報収集や発表等。 ※語句・慣用句・四字熟語・短文作成の学習。 ※考査は入試問題レベルの実力問題も出題。	近・現代を代表する評論家や作家の文章に数多く触れ、問題解法を繰り返し演習することによって、大学受験に対応できるだけの読解力を身につける。 なお受験で扱われる評論は難解な内容のものが多く、選択する生徒には高い学習意欲と持続力が必要である。	1 定期考査 2 小テスト(語句テスト) 3 提出物(授業の解答用紙 毎回提出) 4 出席状況・授業態度 以上を総合的に判断して評価。	18
合計				70

令和5年度年間授業計画

教科:国語 科目:現代文A 校内科目名:現代文A基礎
 教科担当者: 南島 順子

対象年次:3

2単位

使用教科書・教材

- 教科書
『新編現代文A』(第一学習社)
- 補助教材
『パスポート国語必携』(桐原書店)

	指導内容	指導目標	評価の観点・方法	予定授業時数
1 学期	<1学期> —教科書— 小説・評論等 —表現— 原稿用紙の使い方等 —語彙— 近現代文学史・慣用表現・対義語・故事成語 敬語・時事用語・難読語・新聞記事 四字熟語等	小説や評論に親しみ、日常でよく使用する同音異義語・四字熟語・対義語・故事成語等を学び、その言葉を使って表現力を高め、国語入試に対応していくものとする。 また、原稿用紙の使い方のルールを守って文章を作成し時事問題や課題につまとめる力をつける。	1 定期考査 2 小テスト 3 課題・提出物 4 出席状況・授業態度 以上を総合的に判断して評価。	22
2 学期	<2学期> —教科書— 小説・評論等 —表現— 小論文の書き方等 —語彙— 近現代文学史・慣用表現・対義語・故事成語 敬語・時事用語・難読語・新聞記事 四字熟語等	1学期に学習した内容を基に小説や評論を更に理解し、語彙力を深める。レポートや発表など表現力をつける。 また、小論文の基礎を身に付け、時事問題や課題につまとめる力をつける。また、評価する立場に立つてより客観的な見方を身に付ける。	1 定期考査 2 小テスト 3 課題・提出物 4 出席状況・授業態度 以上を総合的に判断して評価。	28
3 学期	<3学期> まとめ	四字熟語や故事成語、文学史等の知識を身に付けているかを確認する。また、情報を収集して文章を完成させる。	1 定期考査 2 小テスト (毎回学習の語彙等) 3 提出物 4 出席状況・授業態度 以上を総合的に判断して評価。	20
			合計	70

令和5年度年間授業計画

教科:国語 科目:古典B 校内科目名:古典B3
 教科担当者: 春川 紀子

対象年次:3

4単位

使用教科書・教材

○教科書

『改訂版 古典B』(第一学習社)

○補助教材

『完全マスター古典文法』(第一学習社)

『学習課題集改訂版 古典B』(第一学習社)

『読んで見て覚える古文単語315』(桐原書店)

『プレミアムカラー国語便覧』(数研出版)

『クリアカラー国語便覧準拠ワーク』(数研出版)

『ニューエイジ古文達成2+』(第一学習社)

	指導内容	指導目標	評価の観点・方法	予定授業時数
1 学期	<1学期> ○中間検査まで ①『発心集』「叡実、路頭の病者を憐れむ事」 ②『枕草子』「野分のまたの日こそ」 「ふと心劣りとかするものは」 「宮に初めて参りたるころ」 ③『俊頼髓脳』「歌のよしあし」 ○期末検査まで ①『源氏物語』「須磨の秋」「住吉参詣」 「薫と宇治の姫君」 ②『玉勝間』「師の説になづまざること」 ③漢文編 逸話 ☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することがある。	・各作品の必要に応じて、古典文法(用言・助詞・助動詞・敬語法)や句法、古語や歴史的背景等の知識を増やす。 ・古典の内容を文章に即して的確に読み取る力を身に付ける。 ・古典を鑑賞する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深める。	1 定期検査 2 提出物 3 小テスト 4 出席状況・授業態度 以上を総合的に判断して評価。	48
2 学期	<2学期> ○中間検査まで ①『大鏡』「菅原道真の左遷」 「道長と女院詮子」 「三舟の才」 ②漢文編 道家・法家の思想 ○期末検査まで ①『蜻蛉日記』「うつろひたる菊」 ②『紫式部日記』「日本紀の御局」 ③『和泉式部日記』「夢よりもはかなき世の中」 ④『風姿花伝』 ⑤『雨月物語』「浅茅が宿」 ☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することがある。 ☆適宜問題演習を行う。	・古典の文法や句法、古語等の知識を定着させ、主体的に作品を読み取る力を身に付ける。 ・古典を鑑賞する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深める。 ・古典に親しむことによって人生を豊かにする態度を身に付ける。	1 定期検査 2 提出物 3 小テスト 4 出席状況・授業態度 以上を総合的に判断して評価。	56
3 学期	<3学期> ①共通テスト対策 ☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することがある。 ☆適宜問題演習を行う。	・古典の中でも主に古文を読解し、問題演習等を通して的確に本文を読み取る力を身に付ける。 ・古典に親しむことによって人生を豊かにする態度を身に付ける。	1 提出物 2 小テスト 3 出席状況・授業態度 以上を総合的に判断して評価。	8
			合計	112

令和5年度年間授業計画

教科:国語 科目:古文講読3 校内科目名:古文講読3
 教科担当者:山際咲清香

対象年次:3

2単位

使用教科書・教材

○教科書

『高等学校 改訂版 古典B』(第一学習社)

○補助教材

『学習課題集 改訂版 古典B』(第一学習社)

『ニューエイジ古文 必修2』(第一学習社)

『完全マスター古典文法』(第一学習社)

『読んで見て覚える重要古文単語315』(桐原書店)

『ベネッセ全訳コンパクト古語辞典』(ベネッセ)

『プレミアムカラー国語便覧』(数研出版)

	指導内容	指導目標	評価の観点・方法	予定授業時数
1 学期	<1学期> ○中間検査まで ①『今物語』 ②『枕草子』 ○期末検査まで ①『源氏物語』 ②『大鏡』 ☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することがある。	・古典の中でも主に古文を読解し、文法や古語や歴史的背景等の知識を増やす。 ・古文の内容を文章に即して的確に読み取る力を身につける。 ・古典を鑑賞する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深める。	1 定期検査 2 提出物(課題・ワークシート・ノート等) 3 小テスト 4 出席状況・授業態度 以上を総合的に判断して評価。	24
2 学期	<2学期> ○中間検査まで ①『蜻蛉日記』 ②『和泉式部日記』 ○期末検査まで ①『俊頼髓脳』 ②『無名草子』 ③『とりかへばや物語』 ☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することがある。	・古典の中でも主に古文を読解し、文法や古語の知識を定着させ、主体的に作品を読み取る力を身につける。 ・古典を鑑賞する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深める。 ・古典に親しむことによって人生を豊かにする態度を身につける。	1 定期検査 2 提出物(課題・ワークシート・ノート等) 3 小テスト 4 出席状況・授業態度 以上を総合的に判断して評価。	28
3 学期	<3学期> 『雨月物語』 ☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することがある。	・古典の中でも主に古文を読解し、問題演習等を通して、的確に文章を読み取る力を身につける。 ・古典に親しむことによって人生を豊かにする態度を身につける。	1 定期検査 2 提出物(課題・ワークシート・ノート等) 3 小テスト 4 出席状況・授業態度 以上を総合的に判断して評価。	18
			合計	70

令和5年度年間授業計画

教科:国語 科目:演劇論応用 校内科目名:演劇論
 教科担当者:三松明人 兼子千明

対象年次:3

2単位

使用教科書・教材

	指導内容	指導目標	評価の観点・方法	予定授業時数
1 学期	<p><1学期> (1)「私の演劇論」を探す。 過去に書かれた「演劇論」を読むのではなく演劇・演技を自己表現の一つとしてとらえ、なぜ過去の演出家や俳優が演劇論というものを ま とめようとしたか考えてみる。そして、自分の演劇論を探していく一歩を踏み出す。 (2)感覚の記憶 自分の感覚を記憶して、いつでも呼び起こすことが出来るようにすることで、「振り」でない表現をすることができるようにする。</p>	<p>演劇をともに作っていく活動を通して、これからの時代に社会で生きていくために必要な、主体性を持って様々な人々と協働して学ぶ態度を養っていくことを目標とします。これまで学んできた知識を総合的にまとめ上げていくことを目指します。 演劇を行うということに関して、その形から入るのではなく、演劇の本質的かつ根本的なところを感じ取ることから考えていく科目です。毎回の授業では、講師と生徒との瞬間瞬間の出会いから、両者それぞれが変化し一つのエチュードのような時間を共有していくことを目指します。</p>	<p>1 出席点 2 授業態度 3 個々の課題の取り組みと成果 出席点、授業態度等を鑑み講師と担当者と相談</p>	22
2 学期	<p><2学期> (3)「何となく…」をクリアにする。 例えば「なぜこの歌が好きなのか。」「なぜこの言葉を聞くとジーンとしてしまうのか。」今までなんとなくで済ませていたことの原因を考えてみる。そして自己を知ることへとつなげる。 (4)「自分」を好きになる。 自分の嫌いな部分を見つけ、欠点のある自分を好きになってみる。その手段であり結果として「これが私です」と皆の前で表現してみる。</p>	<p>演劇をともに作っていく活動を通して、これからの時代に社会で生きていくために必要な、主体性を持って様々な人々と協働して学ぶ態度を養っていくことを目標とします。これまで学んできた知識を総合的にまとめ上げていくことを目指します。 演劇を行うということに関して、その形から入るのではなく、演劇の本質的かつ根本的なところを感じ取ることから考えていく科目です。毎回の授業では、講師と生徒との瞬間瞬間の出会いから、両者それぞれが変化し一つのエチュードのような時間を共有していくことを目指します。</p>	<p>1 出席点 2 授業態度 3 個々の課題の取り組みと成果 出席点、授業態度等を鑑み講師と担当者と相談</p>	28
3 学期	<p><3学期> (5)集団で一つのを創り上げる。 バラバラな個性が集まり、一つのシーンを創っていく。その過程で自己や他人の役割をも認識する。 (6)演劇論の入口を発見する。</p>	<p>演劇をともに作っていく活動を通して、これからの時代に社会で生きていくために必要な、主体性を持って様々な人々と協働して学ぶ態度を養っていくことを目標とします。これまで学んできた知識を総合的にまとめ上げていくことを目指します。 演劇を行うということに関して、その形から入るのではなく、演劇の本質的かつ根本的なところを感じ取ることから考えていく科目です。毎回の授業では、講師と生徒との瞬間瞬間の出会いから、両者それぞれが変化し一つのエチュードのような時間を共有していくことを目指します。</p>	<p>1 出席点 2 授業態度 3 個々の課題の取り組みと成果 出席点、授業態度等を鑑み講師と担当者と相談</p>	20
			合計	70